

2025 年春季参加報告書

参加プログラム：高麗大学校

参加時の学年：2 年生 学部：社会 学科：メディア社会

今回の留学には、韓国語の上達と色々な経験をする事を目的に参加しました。語学堂では初級のクラスに所属しましたが、クラスの内容は自分にとっては少し簡単でしたが、その中で発言をしたり質問をしたりすることを心がけました。ルームメイトや友達とも復習や積極的に韓国語を使用しました。アウトプットをしていたおかげで最後のスピーキングのテストではスラスラと話せるようになったので成長することができたと思います。韓国語を学ぶことが楽しくなり、継続して勉強していきたいと思いました。

普段の生活では、学校の放課後にいろいろな場所に出掛けたり、トウミの学生と遊んだりして過ごしていました。今回が初めての韓国だったので、見るもの全てが新鮮に感じられました。移動は主に地下鉄を利用していましたが、文化の違いなどもあり慣れるのが少し大変でした。それでも、最後には現地の方のように利用できていたと思っています。

学校は平日午前中のみ授業の日が多く、比較的自由な時間は多かったため、様々な場所を訪れることができました。韓国の地下鉄はとても料金が安いので、いろいろなところへ行こうという気持ちになりました。今回は、時間が足りず行けませんでした。いつか釜山や済州島にも行ってみたいと思いました。

語学堂の先生は、私の拙い韓国語も理解してくださったので、もっと勉強しようという気持ちになりました。先生のおすすめのお店などもたくさん訪れました。トウミの学生との交流では、景福宮へ訪れたり、ボードゲームカフェへ行ったりしました。トウミの学生のアルバイト先にも遊びに行ったりと充実したトウミ交流となりました。日本語がとても上手な方だったので、自分自身もっと韓国語が喋れるようになりたいと思いました。優しく発音や言い方を教えてくださったので助かりました。

今回の現地実習で1番難しかったのは発音でした。お店などで現地の方と話をする際、聞き返されることが多く、英語の発音も日本とは異なるため、「やはり発音が違うのだな」と実感しました。発音はもっと練習する必要があると感じましたし、日本で話す機会は少ないので、「また現地に行って実際に話す練習をしたい」と思いました。

今回の実習では食事の提供はなかったので、外食が中心でしたが、食べたいものをたくさん食べられてよかったです。そしてどれも美味しかったです。現地の方はみんな優しくてすごくありがたみを感じるが多かったです。

今回の現地実習を踏まえて、さらに韓国語を上達させたいと思いました。そして継続的に勉強しようとすごく思いました。すごくいい経験にすることができてよかったです。

